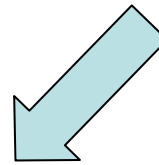


全国海の再生プロジェクト

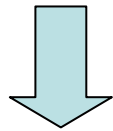
昔:人口も半分、陸域汚濁負荷流入も少なく、海の生態系は豊かで自己浄化能力がある状態



現在:人口倍増、陸域汚濁負荷増大、海域で赤潮・夏期貧酸素水塊発生。魚類、底生生物は生きられない。海底にはヘドロ。生態系は貧弱に。下水処理場では富栄養化の原因となる窒素・リンの除去が不十分。合流式下水道からは雨天時未処理下水の放流。浮遊・漂着・海底ごみ。直立護岸、市民は海から遠ざけられ、埋立地には低・未利用地が発生



将来:人口は依然多く、港はにぎわう。しかし、合流式下水道の改善を推進するとともに、経済的インセンティブを付与することで、窒素・リンを除去する下水道の高度処理が進み、放流水質はきれいに。ヘドロも浚渫等で減り海域の内部生産低下、夏期の溶存酸素豊富に。人工干潟、親水護岸、海辺の緑等の整備により、豊かな生態系の回復と、人々に快適な親水空間の創出。



全国海の再生プロジェクト
の推進



国土の健康を回復

